

平成26年 旧野崎家住宅秋季展示

9月11日(木)～11月24日(月)

野崎家の

屏風と扇面



場所/国指定重要文化財 旧野崎家住宅
岡山県倉敷市児島味野1-11-19

時間/9:00～16:30 (17:00閉門)

入館料/大人 500円 小中学生 300円

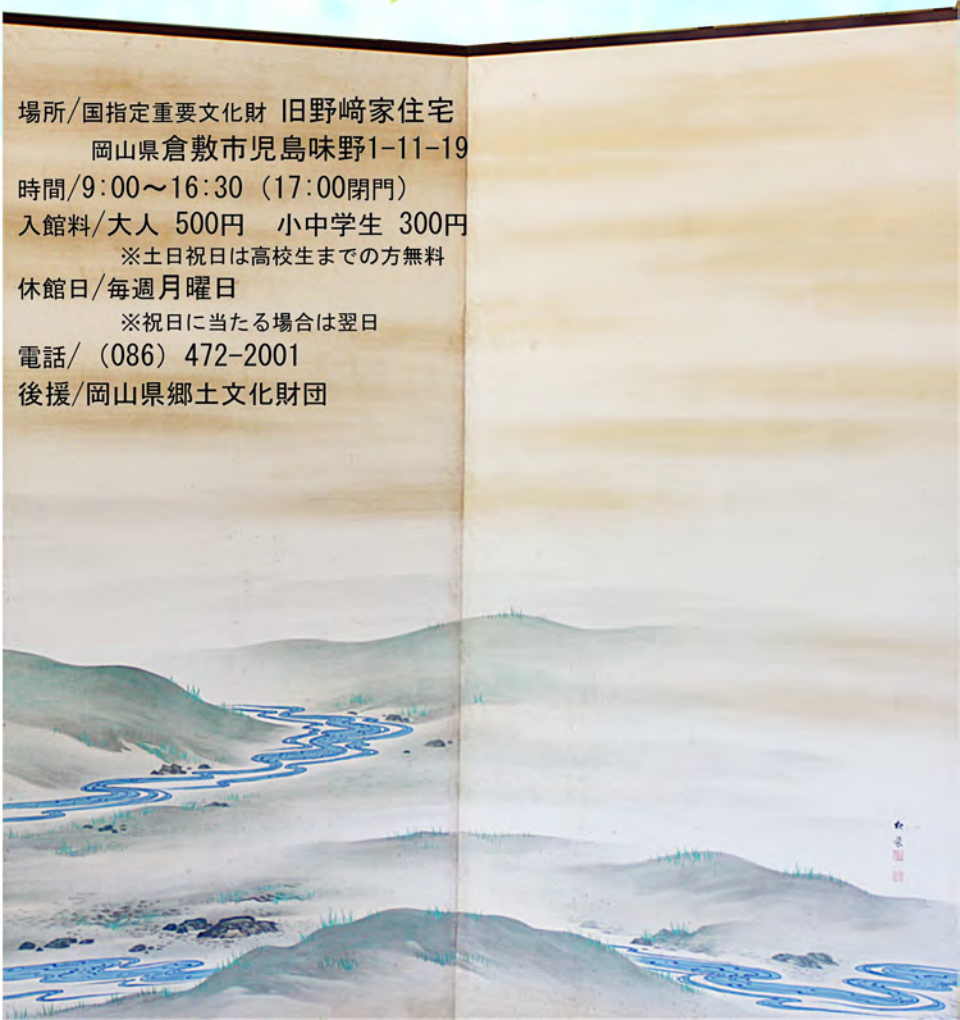
※土日祝日は高校生までの方無料

休館日/毎週月曜日

※祝日に当たる場合は翌日

電話/ (086) 472-2001

後援/岡山県郷土文化財団



企画展「野崎家の屏風と扇面」

会期

日程／平成 26 年 9 月 11 日(木)～11 月 24 日(月)

開館時間／9:00～16:30(17:00 閉門)

休館日／毎週月曜日(但し祝日の場合はその翌日)

展覧会概要

江戸期、山陽道を代表する豪商の邸宅に残る野崎家の屏風と扇面を展示致します。大庄屋建築の屋敷ならではの豪壮な大型屏風や、優美な扇面の数々をご覧ください。

展示物

屋敷内で屏風は 11 点(一双屏風は 1 点で数えて)、扇面は 12 点の展示。

Pick up

「孔雀図」画：^{がんく}岸駒・^{がんだい}岸岱 賛：^{かんちやざん}菅茶山・^{らいさんよう}頼山陽

岸駒、岸岱という父子による孔雀図に、菅茶山、頼山陽という師弟が漢詩を付した一双屏風。賛とは画に題して画面の余白に添えられた詩や歌や文などのこと。岸駒は狩野派の持つ日本伝統の技術性と四条派の持つ写実性からくる画題の親しみやすさのような画風を取り入れるなど一派を成した岸派の祖。

「鰻魚野菊図」^{いさかきようりん}井坂杏林

本展覧会チラシのタイトル横にも使われている扇。井坂杏林は岡山・吉備の人。犬養毅とも交流があったことが知られ、岡山県内には多数の作品があると思われます。描かれた野菊と鰻の湾曲した姿は扇面の特性をよく利用した面白味のある作品。

利用案内

料金／大人 500 円・小中学生 300 円(土日・祝日は高校生まで無料)

連絡先／Tel (086)472-2001 Fax (086)472-2636

後援

公益財団法人 岡山県郷土文化財団